

---

カエル！ジャパン通信 Vol.230 令和6年7月31日

発行：内閣府 仕事と生活の調和推進室

---

<<<今号の目次>>>

1. 取組紹介 残業ゼロですべての社員が活躍できる会社に  
会社名 株式会社群協製作所

2. 最新情報

《お知らせ》 1件

《地方公共団体の動き》 10件

---

### ■□■ 1. 取組紹介 ■□■

残業ゼロですべての社員が活躍できる会社に

---

会社名 株式会社群協製作所

事業内容 継手製造販売、レーザー加工機消耗品製造販売、機械販売など

本社所在地 群馬県高崎市

社員数 50人（2024年4月1日現在）

表彰歴 はばたく中小企業・小規模事業者300社（2023年）

群馬県いきいきGカンパニー優良事業所「女性活躍推進部門」優秀賞（2021年）

残業をなくし、有給休暇も取りやすくするなどの働き方改革を進めることは、優秀な人材が集まるだけでなく社員のやる気を高め、業績アップにつなげることができます。今回は、残業をほぼゼロにした結果、女性比率が増え、すべての社員がいきいきと働ける職場をつくりあげた、株式会社群協製作所の遠山昇社長にお話を伺いました。

#### ◆社員の9割が残業ゼロ、売り上げは7年間で2倍に

当社は「残業なし」を経営方針に掲げています。2023年の月平均残業時間はわずか23分。9割の社員が残業ゼロで、入社以来一度も残業したことがないという社員も6割います。有休はいつでもとれるので、子どもの急な病気や学校行事、家族旅行などでほぼ毎日誰かが有休をとっているような感じです。自身が社長になってからの15年間で、会社側が社員からの有休申請を認めなかったことは、1回もありません。

その結果、女性が働きやすい職場となり、女性社員の比率は56%と製造業としては異例

の高さになりました。工場の現場でも多くの女性が活躍しています。25歳以下の若手が10



人いる一方で、75歳以上の高齢者も3人います。残業時間の減少と反比例するように、売り上げは7年前と比べて2倍、12年前と比べると3倍に増えました。誰もが働きやすい職場を目指した結果、多様な社員が活躍して、業績に反映したのだと思っています。

このような会社を目指した原点は、ワーキングホリデー制度を使って豪

州や米国で働いていた20代の時の経験です。現地の人たちは午後5時を過ぎたら職場からいなくなり、レストランや映画館に行っていました。効率的に仕事を済ませて余暇を楽しむ。そんな姿が強く印象に残りました。

30歳手前で帰国し、創業者社長だった先代(現社長の父)が経営する群協へ入社した時、職場はまさに「昭和の製造業」でした。毎日残業は当たり前で、休みもなかなかとれないので、若い社員が定着しない。これでは、せっかく優れた技術があっても会社が成長するのは難しいと感じました。

残業をなくすには、大企業の下請け的な仕事や、納期の厳しい仕事を断るしかありません。当然、売り上げは一時的に落ち込みます。それをカバーするため、全国各地を自家用車で回って飛び込み営業をかけました。付加価値の高いレーザー部品の製造を始めた頃で、購入してくれそうな町工場を選んで戦略的に営業したのが奏功し、売り上げを伸ばすことができました。今では47都道府県に5000社以上の顧客企業を抱えており、リスク分散の効果も生まれています。

#### ◆「人に教える」社員を高く評価

いつでも休める体制にするには、休む人の穴を誰かが埋める必要があります。そのための取組が「多能工を増やす」こと、具体的にはデスクワークをしている社員に製造現場を手伝ってもらうことです。現場には、難しい技術や専門的な知識を必要としない、でも欠かせない仕事がたくさんあります。それらを普段はデスクで生産管理や品質管理をしている社員に手伝ってもらえば、「本業」の気づきにつながったり、気分転換になったりします。



人事評価制度も大きく見直しました。5段階で評価するのですが、いくら仕事で成果を

ノウハウの共有で休みも取りやすくなる

出しても、それだけでは上から2番目の「4」にしかありません。自分が持っている技術やノウハウを他の社員に教えることで、初めて一番上の「5」をとることができます。こうして情報共有を進めることによって、「この人がいなければ仕事が進まない」という属人化を防ぐことができ、より休みやすい雰囲気が醸成されました。

一方、昔気質の職人は自分の技術を他に教えることに抵抗しがちです。高い技術を持ちながら、制度変更によって給料が下がることに納得できず、会社を辞めていった人もいます。それでも、不満を持つ社員たちには時間をかけて何度も説得し、徐々に分かってもらいました。辞めた人たちの穴も、若い社員の成長が埋めてくれました。

いずれの改革も、私が部長時代に弟（現専務の雄彦氏）と協力して始めたものです。先代からは反対され、何度も口論になりました。ある時から、創業以来苦勞の連続だった話を根気よく聞くようにしたところ、父もこちらの話に徐々に耳を傾けるようになり、最後は私たち兄弟に任せてくれました。昔のやり方をいつまでも続けるのは難しいことを、先代も分かっていたのでしょう。

#### ◆「自律型」社員が増え、社長不在でも業績アップ

約5年前に脳内出血を起こし、5か月間の入院を余儀なくされました。通常、町工場の社長がそれほど長期間不在だと会社が倒れてもおかしくないはずですが、当社の場合、業績はむしろ伸びました。一連の働き方改革を通じ、上司の指示を待たずに自ら考えて効率よく仕事を進める「自律型」社員が増えてきたからです。改革の思わぬ副産物でした。



トイレ清掃は遠山社長の担当

にはそんな会社になりたいと夢見ています。

当社は、毎朝5分間、出社している社員全員で工場の清掃をします。男性トイレの掃除は社長の担当です。工場を隅々まできれいにしておくことは、社員の働きやすい環境づくり、やる気アップにつながるからです。働きやすさに対する評価と相まって、就活生からの人気も高まっています。

もっとも、改革は道半ばです。女性管理職の比率は50%ですが、女性役員はまだいません。有休もせいぜい1週間。これでは本当のバカンスとは言えません。欧米並みに1か月程度の連続休暇がとれる。10年後

---

## ■□■ 2. 最新情報 ■□■

---

《お知らせ》

【厚生労働省】

■労働契約等解説セミナー2024 申し込み開始

多様な人材を活用したいとお考えの事業主・人事労務担当の皆さま、社内のルールは整備されていますか？

このセミナーでは、労働契約に関する基本情報をはじめとして、パートや契約社員などが長期的に活躍できる制度「無期転換ルール」や、「副業・兼業の促進に関するガイドライン」について解説します。

事業主・人事労務担当者や労働者の皆さまはもちろん、どなたでもご参加いただけます。セミナー終了後は、個別相談会も開催します。

下記2種類のセミナーがございます。【事前申し込み制・参加無料】

●誰でも参加できる全12回のオンラインセミナー

●中小・小規模企業が所属する団体や労働者・就労予定者等向けの勉強会等を検討中の方からのご依頼により開催する会場形式のセミナー（希望によりオンライン形式やハイブリット形式も可）

※詳細はこちら 労働契約等解説セミナー2024

<https://roukeiseminar.mhlw.go.jp>

《地方公共団体等の動き》

各事業の詳細はそれぞれの地方公共団体にお問い合わせください。

【千葉県】 千葉市

育休からの復職準備講座（全2回）

育児休業からの復帰に、不安を抱えていませんか。職場や家族とのコミュニケーションの取り方、家事育児の役割分担など両立していくために必要なことを一緒に学びましょう。目の前のことに追われがちなのこの時期に、これからのキャリアを考えるきっかけにつながります！これから育休取得を考えている方もぜひ！

講師：土屋忍さん（育休後シニアアドバイザー）

日時：第1回 令和6年9月7日（土）10:00～12:00

第2回 令和6年9月14日（土）10:00～12:00

対象・定員：産休・育休中または取得予定の方（パートナーとの参加も可）

20人（事前申込・先着順）

場所：千葉市男女共同参画センター セミナールーム

申込方法：Web・メール・電話等

<https://www.chp.or.jp/event/fukushokujunbi/>

【神奈川県】横浜市

女性としごと応援デスク ミニセミナー「私の強みはどこにある？」

自分らしく働くための応募書類の作り方

～マザーズハローワーク横浜 出張就職支援セミナー～すぐに就職活動を始めようと思っている方はもちろん、就職活動をしたいけど、何から始めていいかわからないという方も大歓迎。仕事探しの軸など、就職活動を始める前のマインドセットから考えていきましょう。応募書類の作り方では、個人ワークも行います。

講師：坂本良子さん（マザーズハローワーク横浜 求職者専門相談員）

日時：令和6年9月3日（火） 10:00～10:40

対象・定員：再就職・転職を考えている女性・20人（先着順）

場所：フォーラム(男女共同参画センター横浜)2階セミナールーム1・2・3

申込方法：Web・電話・来館（受付開始8月1日9:00）

※セミナー終了後に個別相談あり。ご希望の方は電話、もしくは来館にてご予約ください。

<https://www.women.city.yokohama.jp/y/event/39279/>

【神奈川県】

令和6年度 女性のための社会参画セミナー「かなテラス カレッジ」

（第9期、秋期プログラム）

地域活動・社会活動に参画する意欲をもつ女性を対象としたセミナーです。女性を取り巻く社会の現状について学び、地域社会の課題を発見し解決するための手法を身に付けます。望ましい社会づくりに自分らしく参画するためのヒントが満載です。

日時：令和6年9月7日（土）～10月26日（土）（すべて土曜日、全5回）

※時間は全回 10:00～15:30（12:00～13:00 はお昼休み、15:00～15:30 は事務連絡）

講師：第1回 宮本太郎さん（中央大学法学部教授）

第2回 本多ハワード素子さん（昭和女子大学人間社会学部准教授）

第3回 小栗ショウコさん（認定NPO法人あっとほーむ代表）

第4回 椛島洋美さん（横浜国立大学大学院国際社会科学研究院教授）

第5回 山口容子さん（ボイスコンサルタント）

対象・定員：女性・30名程度（原則、全日程に参加できる方・応募者が定員を上回った場合は抽選）※定員に余裕のあるときは各日参加を随時受け付けます。

場所：かなテラス（神奈川県立かながわ男女共同参画センター）

受講料：1,800円

申込方法：Web・電話（締切8月15日17:00）

[https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza\\_event/kanakare2024.html](https://www.pref.kanagawa.jp/docs/x2t/kouza_event/kanakare2024.html)

【静岡県】浜松市

【公開講座】第11期はままつ女性カレッジ

「自分らしく輝ける社会って？ ～男女共同参画って何だろう？～」

男女共同参画、ジェンダー平等の実現はなぜ緊急課題なのか、これからの方向性、男女共同参画社会をめざして。まずは身近な意識と行動から自分自身の中の「アンコンシャス・バイアス」に気づき、できることから少しずつ変えてみませんか。

講師：犬塚協太さん（静岡県立大学 男女共同参画推進センター長 国際関係学部教授）

日時：令和6年9月6日（金）10:00～12:30

対象・定員：どなたでも・20人程度（先着順）

場所：あいホール利用室203

申込方法：Web・電話

<https://ai-hall.com/events/openlecture-2024/>

【愛知県】名古屋市

職場復帰準備セミナー1～子どものいる日常と私のキャリアデザイン～

職場復帰後、安心して仕事・子育て・家事ができる日常を過ごすために、育児休業中に準備できることを学ぶとともに、長期的な視点で自分のキャリアについて同じ立場の人と共に考えましょう。

講師：名古屋市立保育園 園長、先輩ゲスト 2人

日時：令和6年9月17日（火）10:00～12:30

対象・定員：育児休業取得中の方・20人

場所：イーブルなごや生活科学研修室

申込方法：Web・電話・窓口

<https://e-able-nagoya.jp/lec/21024/>

【大阪府】大阪市

【男女共同参画セミナー】働く女性のためのタイムマネジメント

キャリアアップをめざしつつ、家庭生活も充実させる方法に焦点を当て時間管理や優先順位のつけ方など、仕事とプライベートの両立をサポートするためのヒントを学びます。新しい視点と考え方で自分らしいライフスタイルを見つけましょう。

講師：瀧井智美さん（株式会社 ICB 代表取締役、ワークライフバランスコンサルタント）

日時：令和6年8月24日（土）10:00～12:00

対象・定員：女性・50名

場所：クレオ大阪南

申込方法：Web・電話

<https://www.shisetsu-osaka.jp/shisetsu-nw/koza/detail.html?kozaId=51983>

## 【兵庫県】

男女共同参画セミナー「男性の家事・育児・介護～無償労働の配分にかかる実証的研究～」  
ワーク・ライフ・バランスという概念が市民権を得た今日、「ワーク」と「ライフ」の実態  
について、今一度学び直しが必要です。私たちが無償労働に対して持つ固定観念と社会規範  
を見直し、今日の働き方と暮らしに相変わらず潜む「分担」の男女差を改善するため、とも  
に考えましょう。

※原則としてインターネットによる動画配信の視聴によりご参加いただきます。

講師：筒井淳也さん（立命館大学産業社会学部教授）

日時：令和6年8月29日（木）10:30～12:30

対象：県内在住・在勤・在学の方

申込方法：Web

<https://hyogo-even.jp/seminar/geps20240829am.html>

## 【和歌山県】

魅力ある女性リーダー養成講座

和歌山県では、女性の能力が十分に発揮できる取組を行っている企業等を「女性活躍企業同  
盟」として組織化するなど、県内企業における女性活躍の取組を支援しています。

この度、ジェンダー平等推進センター“りいぶる”では、女性の登用をめざす企業の取組を支  
援し、管理職やリーダーをめざす女性が社外で研鑽を積み、人的ネットワークを構築するこ  
とを目的に「魅力ある女性リーダー養成講座」を開催します。

《Part.1》リーダーシップ講座&ロールモデルによるパネルディスカッションと交流会

日時：令和6年8月22日（木）10:00～17:00

講師／コーディネーター：本庄麻美子さん

（和歌山大学経済学部准教授／キャリアコンサルタント）

《Part.2》スキルアップ講座「アサーティブコミュニケーションを学ぶ」

日時：令和6年9月5日（木）10:00～17:00

講師：谷水美香さん（ヒューマン・トータルバランスサポートりと代表／

アサーティブコミュニケーション・トレーナー／精神保健福祉士）

対象・定員：県内に在勤または在住の管理職・リーダーをめざす女性・各回30名

（先着順、1企業・団体あたり3名まで）

※Part.1、2のいずれか1日だけの申込み可

場所：和歌山県ジェンダー平等推進センター“りいぶる”会議室A

申込方法：Web・郵送等

<https://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/031501/kouzaevent/d00217389.html>

## 【島根県】

しまね働く女性きらめき応援塾 2024 スキルアップ編

今年のテーマは「あなたはあなたのままでキャリアアップしていける！」です。女性に意見を求めたり、新たな分野や責任の重い仕事を任せたりと、職場では女性活躍とキャリアアップへの期待が高まっています。一方で女性のみなさんは、自分には無理とか、意見を言うのは苦手とっていませんか？

このセミナーでは、「キャリアアップ」への視点を少し変え、女性たちが職場での影響力を高めていくイメージで、参加交流型で行います。無理なく自分らしく、意欲と複合スキルを高めます。

※3回連続形式、単発での受講はできません。

講師：第1回 竹本記子さん（ナラティブ・エナジー代表）

第2回 大澤貴子さん（コーチングルーム Osawa 代表）

第3回 杉本美晴さん（アット・ワンス株式会社 代表取締役）

## 【大田会場】

日時：第1回 令和6年8月20日（火）10:00～16:00

第2回 令和6年9月13日（金）10:00～16:00

第3回 令和6年10月2日（水）10:00～16:00

## 【松江会場】

日時：第1回 令和6年8月21日（水）10:00～16:00

第2回 令和6年9月18日（水）10:00～16:00

第3回 令和6年10月3日（木）10:00～16:00

対象・定員：県内で働く若手・中堅の女性（就業年数概ね3年以上）・20名程度（先着順）

場所：【大田会場】 県立男女共同参画センター「あすてらす」研修室1・2（大田市大田町）

※第2回のみ研修室6

【松江会場】 松江市市民活動センター 交流ホール（松江市白潟本町）

※第2回のみ 201・202 研修室

申込方法：メール、Fax等（締切8月6日）

<https://www.asuterasu-shimane.or.jp/swc/3299/>

## 【福岡県】北九州市

働く女性を対象にお届けするフォローアップセミナー

今回のテーマは「よりよい関係性を築くためのコミュニケーションスキル」

円滑な人間関係は働きやすさを促進します。「上司や部下と良好な関係性を築くにはどうしたら?」「自分の考えや意見をもっときちんと伝えられるようになりたい…」とお悩みのアナタ。自分のコミュニケーションの特徴を把握し、スタイル別のコミュニケーション方法を学ぶことで、コミュニケーションスキルを高めませんか？



講義+グループワークという構成で、コミュニケーションについてしっかり学べる2回講座です。第1回は「自分のコミュニケーションスタイルを知る!」、第2回は「コミュニケーションスキルを高める!」がテーマです。

講師：山本 素子さん（公認心理師・国際コーチング連盟ACCコーチ・  
福岡工業大学短期大学部 非常勤講師）

日時：第1回 令和6年9月7日（土）14:00~16:00

第2回 令和6年9月28日（土）14:00~16:00

対象・定員：働いている女性・30名（抽選）

場所：ムーブ5階小セミナールーム（北九州市立男女共同参画センター）

申込方法：Web・電話

<https://www.kitakyu-move.jp/jigyuu/10270.html>

---

#### 【編集後記】

今年5月末に発表された「2024年版ものづくり白書」によると、製造業における女性就業者の割合は09年以降、30%前後の横ばいで推移しています。全産業の女性就業者の割合が02年の41.0%から23年の45.2%へと、緩やかながら上昇傾向をたどっているの比べると、製造業で働く女性の割合が伸び悩んでいることがうかがえます。

一方、厚生労働省の令和4年版「労働経済の分析」によると、製造業の女性の勤続年数は上昇傾向を続けており、全産業の平均を上回っています。ただ、男性とは3年以上の差がついたままでなかなか縮まりません。こうした状況を鑑みると、製造業には、女性が働きにくい職場というイメージをもたれている可能性があり、その状況を改善していく必要があります。

今回ご紹介した株式会社群協製作所は、社長の海外経験に根ざした改革への強い思いに加え、戦略的な営業や、社員間の情報共有を促す人事評価制度の導入などによって、「残業ゼロ」や有給休暇をとりやすい体制を実現させました。その結果、町工場としては珍しく社員の過半数を女性が占め、若手も定着するようになるなど、誰もが働きやすい職場づくりにつながっています。

内閣府男女共同参画局では、「仕事と生活の調和推進のための調査研究」として、企業におけるこうした多様で柔軟な働き方に関する取組について、先進的な事例を取りまとめ、報告書及び取組事例集を公表しています。全ての人活躍できる働き方の実現に向けたポイントとして、制度を使いやすい組織風土の醸成や、ITツールの活用等、企業の皆様の御参考となるような取組を御紹介していますので、ぜひ御覧ください。

※仕事と生活の調和推進のための調査研究

<https://www.cao.go.jp/wlb/research.html>

---

本メールは送信専用メールアドレスから配信されております。  
御返信いただいてもお答えできませんので御了承ください。

配信中止はこちらから

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/unsubscribe.php>

配信先変更は上記により配信中止の後、こちらから新しいアドレスで登録

<https://nmg.cao.go.jp/cao007/subscribe.php>

バックナンバーはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/e-mailmagazine/backnumber/index.html>

このメールマガジンへの御意見・御要望はこちらから

<https://form.cao.go.jp/gender/opinion-0086.html>

内閣府「仕事と生活の調和」推進サイトはこちらから

<https://www.cao.go.jp/wlb/index.html>